

## 検証報告 4月12日の「強行採決」報道について

4月12日の衆議院厚生労働員会で、介護保険法改正案の「強行採決」が行われたことが同日中に報道されました。多くのTV報道では、『民進党の議員が議題と異なる「森友問題」に関する質問を安倍総理大臣に対して行ったため、これに反発した与党側が法案の「強行採決」に踏み切った。森友問題の質問を封じる与党の行動に民進党が怒って翌日以降の審議拒否に至った』という流れで事実を説明しています。

しかし、こうした報道に対し自民党の議員から「事実を正確に伝えていない」との声があがっています。

長尾たかし衆議院議員は同日中に自身の Facebook で以下のような事実を指摘しています。

- ・介護保険法改正案は重要な議案であるという理由で、野党側が総理に対する質疑を求めている。

- ・与党側は野党の要望に応じて、「改正案と関係のない森友問題は取り上げない代わりに」安倍総理の出席を了承、全ての質疑時間を野党に割くことを約束した。

- ・民進党議員が約束に反して森友学園問題を質疑で取り上げ、委員長が”質疑は議題の範囲内”と再三注意したにもかかわらず約10分間続けたため審議が紛糾した。

以上のような指摘が事実であれば、単に与党側が森友問題の追及を避けたいがために「強行採決」に及んだという趣旨の報道は正確ではなく、民進党側に相当の原因があって生じた事態であったということになります。

それでは、実際に本件がテレビ報道でどのように扱われたのでしょうか。それを確かめるため、当会の検証スタッフが当日の在京キー局において本件を伝えた報道をチェックしました。

### 1. 本件についての全報道の概要

当日、本件を報道した在京キーの報道番組は、NHK「ニュース7」及び「ニュースウォッチ9」、日本テレビ「NEWS every」、テレビ朝日「報道ステーション」、TBS「Nスタ」及び「NEWS23」の合計6番組でした。

以下に、上記6番組における本件報道の概要を記載したのちに、検証スタッフによる所感を記します。

#### TBS NEWS23 (約3分)

タイトル：『森友学園と財務省 「交渉データ復元の可能性は？」』

冒頭、「今日の国会、ある委員会の様子です」として紛糾する厚生労働委員会の映像を紹介。「紛糾しているようですが、きっかけは野党議員が議題に含まれていない問題を持ち出したことでした。学園と財務省の交渉データを復元できる可能性があるというのです。」と説明。

(VTR 開始)

ナレーション：桜が満開となった国会。しかし中では議員が何やらひそひそ話。安倍総理も出席して開かれた衆議院の厚生労働委員会。介護サービス利用者の自己負担割合引き上げなどを盛り込んだ法案審議の場で、野党が取り上げたのは。

民進党・柚木通義議員「ぜひ総理、簡単なことですので御答弁お願いします」「財務省の森友側との交渉記録データが復元可能性があると、そういうふうに財務省が答えておられるわけでございます。これはぜひですね、財務省の情報管理室によれば、システムは今年6月に入れ代わる予定で、このままでは証拠隠滅、消失のおそれがあると思われます。総理から一言、一言で結構ですから、森友学園側との交渉データを復元して公表するように一言ご指示いただけませんか」

ナレーション：財務省に電子データが残っているのではないかとして公表するよう迫る柚木議員。しかし

丹羽委員長「質疑は議題の範囲内でお願ひします」

ナレーション：法案に関係ない質問だとして安倍総理は答弁しませんでした。(黙っている安倍総理の様子)

ナレーション：委員会が終わりに近づき、与党席で不穏な動きが。(耳打ちする田村元厚労大臣など)

丹羽委員長「本案に賛成の諸君の起立を求めます！」

ナレーション：14日に採決を行うことで与野党が調整していた法案の採決に、突然踏み切ったのです。

民進党・山井和則国対委員長（委員会終了後）「安倍総理に森友疑惑の質問をしたら法案を強行採決する。こんな無茶苦茶な国会運営はありえないと思います。究極の森友疑惑隠し、森友質問封じです」

ナレーション民進党は明日、午前に予定されている委員会の審議には応じない構えです。

（VTR 終わり。ここまで「森友“交渉データ”で紛糾 復元の可能性は？」とのテロップが画面右上に表示され続ける）

（以後、画面右上に「国会のルール 国会の責務」とのテロップ）

雨宮塔子キャスター：議題に含まれていない質疑をいきなり出すこともあると。

星浩キャスター：そうですね。国会というのは色々ルールがありましてね、そそれを守るのは与野党、当然のことなんです、一方で森友問題はですね、多くの国民の人がやっぱり疑惑はあると言ってるわけですよ。そうするとその疑惑を解明するのもまた国会の仕事ですよ。特にこの交渉データというのはどうもありそうだという話になってますんで、これはぜひ復元してもらいたいですね。情報っていうのは役人のものじゃなくて国民のものですからね。安倍総理もやましいところがないのだったら情報をしっかり出せっていうのを指示してもらいたいですね。

#### TBS 「Nスタ」(約4分)

タイトル：『野党 証人喚問求めるも…「森友学園」問題で国会が混乱』

冒頭、キャスターの説明：今日の国会でもこの問題が取り上げられました。森友学園への国有地売却めぐり、安倍昭恵総理夫人への証人喚問を求めた野党側ですが、この質問で、ある法案の採決が大混乱となる事態となりました。

（VTR 開始）

ナレーション：今日の衆議院厚生労働委員会。野党議員は世論調査の数字を持ち出して、証人喚問を要請します。

民進党・柚木通義議員「NHKの世論調査を私も拝見しましたが、昭恵夫人や迫田国税庁長官らの関係者を証人喚問が必要というのが42%。必要ないの22%のほぼ2倍の国民が証人喚問が必要と考えている」「ぜひ安倍総理ご自身からですね、昭恵夫人あるいは迫田長官に、公の場での説明をいただけるようにお話なり、ご指示をいただけませんか」

ナレーション：これに対して、同じ世論調査での内閣支持率と政党支持率を取り上げる安倍総理。自民党の支持率は30ポイント以上民進党を上回っていました。

安倍総理「その世論調査によりますと内閣支持率は53%ということござい。まして、自民党の支持率あるいは民進党の支持率をご承知の通りでございます」「この件についても従来より何回もご説明してきた通りでございます」

ナレーション：また柚木議員は、「支持率云々ではなく、国民がこの問題について幕引きはおかしいと思っている中で、公の場で説明するよう昭恵夫人に話したか」と質問しました。これに対し安倍総理は「従来より答弁している通りだし、会計検査院がしっかり調査をし、結論を出すのを待ちたい」と述べました。

(VTR 開始からここまで画面右上に『攻防 野党 証人喚問求めるも…首相「説明してきた通り」』)

(以後、VTR 最後まで画面右上に『混乱 与党 採決に踏み切る 民進「審議拒否」の構え』)

ナレーション：一方、森友学園をめぐる与野党の攻防が、法案審議に大きく影響しています。  
(紛糾する委員会の様子)

民進党が事前通告がないまま森友問題についての質問を行なったなどとして、与党側が反発。当初、14日に採決を行うことで与野党間で調整を進めていた、介護サービス利用者の自己負担割合引き上げなどを盛り込んだ介護保険制度関連法案の採決に踏み切り混乱の中、法案は可決されたのです。民進党は明日以降のすべての国会審議を拒否する構えです。

(VTR 終わり)

スタジオでは国会記者会館から岩田夏弥・政治部官邸キャップが解説。

(以後、画面右上に『森友学園めぐり与野党 国会混乱そもそもなぜ?』)

岩田記者：『いまご覧いただきました衆議院の厚生労働委員会ではですね、介護保険に関する法案の審議が行われたんですが、そこで民進党の柚木議員は、安倍総理に対して森友学園に関する質問をしたわけです。これにつきまして自民党はですね（フリップを提示）「法案以外の質問をするということは、逆に言えばもう法案について聞くことはないだろう、十分に質疑をした証拠だ」ということを（田村憲久議員が）言って採決に踏み切ったわけです。これに対して民進党（山井和久国対委員長）は、「これは究極の森友疑惑隠しで、森友質問封じだ」というふうに激しく反発しています。実際ですね、ルールの上ではどうなっているかといいますと、衆議院規則134条というのがありまして、「発言はすべて議題外にわたり、またはその範囲を超えてはならない」とありまして、議題以外のことは聞いてはいけませんよというのがルールなので、厳密に言えば柚木議員の質問はルール違反ということになる

んですが、だからと言ってそれを理由の一つにしてですね、法案の採決に踏み切っているのかといえば、それはまた別問題ということになります。民進党の山井国対委員長は「総理の気に入らない質問をしたら法案を採決する、そんな国会は経験したことがない。政府与党一体となった安倍総理への“そんなく政治”だ」と厳しく批判していきまして、明日から先の国会日程の話し合いには応じていません。さらに民進党は、丹羽厚生労働委員長の解任決議案を出すことも検討していきまして、明日からの国会運営の見通しが立たない状況となっています。』

テレビ朝日「報道ステーション」(約2分)

タイトル：“森友”追及に与党が反発 「介護法案」の採決を強行

(全編にわたり画面右上に上記テロップ)

(VTR)

ナレーション：介護保険法の改正案をめぐる審議で、与党が突然採決に踏み切りました。

(採決に入る中、「森友隠し以外の何物でもないじゃないか」と民進党・柚木通義議員の声)

ナレーション：その4時間前。

柚木議員「財務省の森友学園との交渉記録データ、これを復元し公表する、このことだけ一つご答弁いただければ、私、法案質疑に入りたいと思いますので」

ナレーション：すかさず委員長が止めに入ります。

丹羽委員長「質疑は議題の範囲内でお願ひします。」

ナレーション：結局総理は答えませんでした。与党は、質問の内容が法案と関係がなく、事前の通告がなかったことに反発。(画面は耳打ちする田村議員等)

今日、採決を行う方針に転換しました。

丹羽委員長：「本案に賛成の諸君の起立を求めます！起立多数、よって本案は」

ナレーション：法案は可決されました。

柚木議員(委員会終了後)：「少しでも森友の審議をただけで強行採決だと。こういうやり方を認めたら国会は、なきに等しいものになる」

自民党・田村憲久前厚生労働大臣：「法案以外のことを質問されるということであれば、それはもう十分に質疑を行なったという証拠ではないのかなと」

(VTR 終わり)

富川悠太キャスター：この政府の対応、いかがですか

後藤健二コメンテーター：政府というか自民党の国会運営、これは非常に大人気ないという一言に尽きると思うんですね。そしてこの森友問題っていうのは、安倍総理しか収束できないんですね。誰が説明しても、それは誰も納得できない。そういう意味では安倍総理がきちんと委員会の場で釈明、説明するか、あるいはこの問題に限った記者会見を行う、そういう態度を示さない限りですね、ズルズルズルズル、こういう事態が繰り返される、こういうこ

とだと思えますね。

富川キャスター：今日は沈黙を守っていらっしやいましたね。

日本テレビ「NEWS every」(約1分)

タイトル：荒れる 与党“想定外”採決 民進党は強く反発

藤井貴彦キャスター：国会です。民進党は、今日の衆議院厚生労働委員会で、野党側との合意がないまま与党側が介護保険法改正案を採決したことに強く反発しています。

(VTR 開始)

(VTR 全体にわたって画面右上に『荒れる “森友“質問で”想定外“採決 民進党が反発「あり得ない…」 一部審議に応じない姿勢』)

ナレーション：(画面は委員会の様子) 介護保険法改正案をめぐる野党は今週金曜日の委員会採決で合意をしていました。しかし今日の委員会で民進党の議員が安倍総理大臣に、森友学園をめぐる質問をしたところ、自民党は、事前通告外の質問で信頼関係が崩れたとして一転、採決に踏み切ったものです。民進党はこれに強く反発しています。

山井和久・民進党国対委員長(委員会終了後)「安倍総理に森友疑惑の質問を少しただけで強行採決をします。あり得ない話だと思います。」

ナレーション：民進党は明後日の法務委員会で予定されている、共謀罪の趣旨を盛り込んだ組織犯罪処罰法の改正案の審議入りについても拒否する方針です。

NHK「ニュース7」(約1分)

タイトル：介護保険関連法案 委員会で可決 民進・共産が抗議

(全体にわたって画面左上に上記テロップ)

(VTR)

丹羽委員長「本案に賛成の諸君の起立を求めます！」

(「おかしいだろ、こんなの！」との声)

ナレーション：一定の所得以上の介護サービスの利用者の自己負担割合の引き上げなどを盛り込んだ介護保険制度関連法案は、衆議院厚生労働委員会で民進党と共産党が抗議する中、採決が行われ、自民、公明両党と日本維新の会の賛成多数で可決されました。採決の後、民進党と共産党の理事は、衆議院厚生労働委員会の丹羽委員長に対し、「森友問題を質問したことを理由とした強行採決を認めれば、今後1分たりとも法案以外の質問ができないという前例を作ることになりかねず、採決は無効だと抗議しました。これに対し丹羽委員長は「抗議はしっかり受け止めさせていただく」と述べるにとどめました。

NHK「ニュースウォッチ9」(約1分半)

タイトル：介護保険関連法案 委員会で可決 明日の衆院本会議採決 見送りへ

(全体にわたって画面左上に上記テロップ)

(VTR)

丹羽委員長「本案に賛成の諸君の起立を求めます！」

(「おかしいだろ、こんなの！」との声)

ナレーション：一定の所得以上の介護サービスの利用者の自己負担割合の引き上げなどを盛り込んだ介護保険制度関連法案は、衆議院厚生労働委員会で民進党と共産党が抗議する中、採決が行われ、自民、公明両党と日本維新の会の賛成多数で可決されました。これに対し民進党と共産党は、議院運営委員長の佐藤委員長に対し、法案を厚生労働委員会に差戻すよう求めるなど、強く反発しています。

このため、自民・公明両党の国会対策委員長らが国会内で協議し、厚生労働委員会での採決の手続きに瑕疵(かし)はないとしながらも、明日衆議院本会議で採決するのは見送り、あさって行う方向で調整しています。

・各報道の特徴および検証者所感

本件を最も時間を割いて報道したのはTBSでした。

「Nスタ」では、森友問題に関する質問に総理が直接の回答を避ける様子を伝えた上で、「事前通告がない」質問に与党が反発して、14日の採決で合意していた法案をこの日に繰り上げ採決するに及んだという流れで伝えました。最後に解説した岩田記者の解説では、自民党の田村元厚労大臣と民進党の山井国対委員長の言い分を伝えた後、国会の規則も解説し、議題と関連のない質問は「厳密に言えばルール違反」としながらも、「それを理由の一つにして法案の採決に踏み切っているのかといえば、それはまた別問題」として、結局は野党の反応を是とするような解説となっていました。

「NEWS23」では、民進党・柚木議員が質問で取り上げた「森友学園と財務省の交渉データを復元できる可能性」を報道のタイトルに用い、VTR中でも特にクローズアップして伝えており、特にこの件の質問を総理と与党が嫌ったがために法案の「強行採決」に踏み切ったように見える編集となっています。自民党側の言い分は伝えることなく野党の反発の声のみ伝えており、星浩キャスターのコメントも柚木議員の発言にほぼ寄り添ったものと言えます。

テレビ朝日「報道ステーション」も、短いながらも「NEWS23」と同様で、「森友学園と財

務省の交渉データ復元」を求める柚木議員の質問に反発した与党が介護保険法改正案の採決に踏み切ったという流れで伝えています。ここでは、委員会終了後の柚木議員による与党批判に対置して、自民党の田村憲久前厚生労働大臣による「法案以外のことを質問されるということであれば、それはもう十分に質疑を行なったという証拠ではないのかな」という発言も紹介されていますが、後藤健二氏のコメントは与党の対応を「大人気ない」と断じ、安倍総理に「森友疑惑」についての「釈明」を求めています。

日本テレビ「NEWS every」では、法案の採決は金曜日ということで合意していたが、民進党議員が森友学園をめぐる質問をしたところ「自民党は、事前通告外の質問で信頼関係が崩れたとして一転、採決に踏み切った」と伝えました。短い時間の中で、自民党の主張の一端も伝えましたが、野党の反発の様子に多くを割いた編集であったと言えます。

NHK「ニュース7」は「介護保険関連法案 委員会で可決 民進・共産が抗議」と、この日可決した法案をタイトルにして報じました。そのため、前半では民進党などが何に抗議しているのか伝わってきません。採決後の野党理事と委員長のやり取りをナレーションで紹介する中でようやく「森友問題」の質問をめぐる抗議があったことがわかります。全体に淡々とした印象で、あまり「紛糾」が印象付けられないような報道であったと言えます。さらに、同じNHKの「ニュースウォッチ9」の報道では「森友問題」に一言も言及されることがありませんでした。そのため、もしこの報道だけ目にしたならば、民進党などが介護保険法改正案そのものに強く反対したために審議が紛糾したようにしか受け取れない報道となっていました。

以上を総括すると、やはり大半の報道では「安倍総理への森友問題の質問を嫌がった与党が介護保険法改正案の強行採決に及んで、これに抗議した民進党が翌日以降の審議を拒否する」という流れで事実を説明していたと言えます。特にTBSはこの件の報道に多く時間を割いて、民進党の立場に寄った報道をしていました。

一方NHKは一種「控えめ」な報道姿勢でしたが、「ニュースウォッチ9」のように今回の事態が「森友問題」をめぐる起きたということに一言も触れないのでは、この日何が起こったのかはほとんど伝わりません。本件で最も事実から遠ざかった報道はこの「ニュースウォッチ9」だったと言えるかもしれません。

いずれにしても、この日の厚生労働委員会について、与野党間の事前の約束として「議題以外の質問をしない」という合意があったという自民党議員が指摘する事実に触れる報道は、どの局にも一切ありませんでした。この事実について、委員会における自民党の代表的な立場から正式な発言があったわけではありませんが、日本テレビ「NEWS every」で触れている「事前通告外の質問で信頼関係が崩れた」という自民党の言い分の元になっている「信頼



2017年5月29日

関係」とは何かといえば、やはりこの委員会の運営について与野党の間に「合意」があったことについての信頼を指していると考えられます。そうだとすれば、この事実は取材によって十分知り得たであろうことですから、この事実にも言及して、事態の全容に迫ろうとする報道が一つぐらいあってもよかったのではないか、と思えてなりません。